

令和3年度事業報告書

公益社団法人 小金井市シルバー人材センター

令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1 概況

令和3年に入り新型コロナウイルス感染症がさらに拡大し、9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除後は、外出自粛や飲食店への営業時間の短縮・休業等の制限が緩和され社会経済活動は持ち直しの動きがありました。

しかし、令和4年初頭に入りオミクロン株を含む新型コロナウイルスの感染症が拡大し、まん延防止等重点措置が再び出され社会経済活動に影響が出ました。

また、高齢者の労働環境も65歳までの継続雇用制度、令和3年4月からは70歳までの就業機会確保が努力義務化され、働く機会の多様化が進んできました。

近年、働き方の多様性から、入会する会員が70歳代に移行し高齢化が進んでいます。

令和3年度は第5次中期計画の最終年度に当たり、当センターにおいても新型コロナ感染拡大防止の観点から就業の中止・制限や就業時間の短縮など余儀なくされ、契約金額、会員数、就業率とも計画目標値を達成することはできませんでした。

会員数の拡充については、入会時の手続きの簡素化、会員募集チラシを全戸配布など会員増強に努めてきましたが、令和2年度末1,050人に対し、入会者103名、退会者135名となり令和3年度末1,018名、対前年度比△32名（△3.0%）の減となりました。

契約金額については、武蔵小金井北第一自転車駐車場が令和3年12月末に閉鎖し減少しましたが、公民館関連業務、会館管理業務、ワクチン大規模接種会場案内業務及び学芸大学関連業務の増加により公共部門では2億2,125万円、対前年度比1,278万円（6.1%）の増、民間部門では1億9,117万円、対前年度比△483万円（△2.5%）の減となり、合計4億1,242万円、対前年度比795万円（2.0%）の増となりました。

令和3年度事業実施計画目標値4億8,300万円に対し△7,058万円下回りました。

年間就業率は、90.0%となり令和3年度事業実施計画目標値91.0%に対し1.0%下回り、対前年度比83.6%に対し6.4%上回りました。

また、当期一般正味財産増減額は△1,172万円の減少となりました。

安全就業については、令和3年安全就業対策方針を策定、安全管理体制の充実、事故防止措置、会員の健康管理、安全教育の推進、安全意識の普及・啓発に努めました結果、傷害事故9件、賠償事故9件が発生しました。

「高齢者等見守り活動」の取り組みについて、平成31年2月6日に小金井市と当センターの間で協定を締結し、令和2年度に引き続きボランティア活動として高齢者などの見守り事業に取り組んできました。

今後、社会貢献活動を通して地域社会に貢献し、地域から頼られるシルバー人材センターを目指すとともに、ホームページを再構築し分かりやすい情報を発信するなど

イメージアップに努める必要があります。

また、新型コロナウイルスの終息が見通せない中、感染予防対策を取りながら持続可能な事業展開を模索する取り組みが課題です。

2 事業実施状況（定款事項）

(1) 就業機会の開拓及び提供

契約金額は4億1,242万円、就業率は年間90.0%となりました。

ア 受託能力の増強及び多くの高齢者に就業機会を提供するため、入会勧誘を積極的に行い、年間入会者は103名となりました。

イ 民間事業就業拡大のため、事業部理事が継続契約発注者へシルバー人材センターのリーフレット等を郵送し、PRに努めました。

ウ 「事務局からのお知らせ」を毎月発行し、就業情報の提供に努めました。

(2) 労働者派遣事業

シルバー人材センター等労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について、派遣業務は6件、派遣会員は19名でした。

(3) 研修

ア 施設管理業務等及び一般家庭を顧客とする新規就業会員を対象とした「接遇研修」を実施し、「接遇」の重要性の浸透を図りました。

(ア) 公共事業部門新規就業者接遇研修会 (出席 17名)

(イ) 民間事業部門新規就業者接遇研修会 (出席 21名)

イ 地域班及び職班等の新任リーダーを対象に、リーダーとしての役割や留意・注力すべき点等、具体的な課題を設定し、討議形式の研修を開催しました。

(ア) 新任地区委員リーダー研修 (出席 10名)

(イ) 新任職班長リーダー研修 (出席 19名)

ウ 他団体が主催する各種講習会、研修会に参加した他、「家事援助班」による自主研修会を実施して、就業に必要な知識の習得や技能の向上を図りました。

(4) 社会奉仕活動

ア 学習教室班による中学生・小学生を対象に夏期学習教室（班員7名）

イ 筆耕班による小金井市市民体育祭 賞状名入れ（班員2名）

ウ 使用済み切手を収集し、小金井ボランティア・市民活動センターへ持参

エ 子育て支援一円貨募金運動に参加（職員一同）

(5) 情報の収集、提供及び普及啓発

ア 東京しごと財団及び第5地域シルバー人材センター主催の各種会合に参加し、高齢者の就業に関する情報の収集に努めました。

イ 会報を年4回発行し会員、発注者、関係団体等に配布し、センターの活動状況を広報しました。

エ 「いきいき小金井」の発行し、全世帯及び関係機関に配布し、センター事業内容を周知しました。

オ 市報こがねいにセンターの事業内容を掲載し、センターのPRに努めました。

カ 市発行紙（高齢者福祉のしおり）、小金井新聞にセンターの広告を掲載し、入会促進、センター活動のPRを行いました。

キ 第5ブロック主催の講座に参加し、センター紹介を実施しました。

ク センターホームページにセンター情報や就業情報を掲載し周知しました。

(6) 調査研究

ア 月々の就業実態を分析・検討し事業運営の資料としました。

イ 請負金額を見直すため、他センターの状況等を調査し、参考資料としました。

(7) 入会・就業相談

ア 事務所窓口及び電話により、一般高齢者、家庭等からの就業並びに受注に関する相談に応じました。

イ 毎月第2木曜日に「入会説明会・入会手続き」を開催し入会の促進に努めました。 (出席・138名)

ウ 「就業に関する相談」を毎月開催し、会員からの就業に関する諸相談に応じました。 (申込・8名)

(8) 安全

就業の安全を確保するため「令和3年度・安全就業対策方針」に基づき次のとおり安全就業に取り組みましたが、傷害9件、賠償9件の事故が発生しました。

ア 安全器具、保護具等の整備、点検

イ 安全標語の募集 15名 45作品

ウ 安全就業強化月間の設定(7月、12月)

(ア) 各駐輪場に「安全就業強化月間のぼり」の掲揚

(イ) 配付救急箱等の点検と補充

(ウ) 安全標語ポスターの掲示

エ 就業現場安全巡回の実施(7月と12月、各月18箇所)

オ 地域班会議等諸会合での安全就業に対する意識の喚起

カ 他団体主催の「安全就業推進大会」への参加

キ 安全就業推進員を置き、会員の安全就業対策を検討

3 管理・運営事項

運営体制の充実・強化

- (1) 会員の総意を決定する最高意思決定機関である総会を1回開催しました。
- (2) 理事会を13回（定例12回、臨時1回）開催し、総会で決定された事業を的確に執行しました。
- (3) 三役部会長等連絡会議を12回開催し、事業運営の基本的事項の調整や部会の意思疎通を図りました。
- (4) 専門部会を延14回、各種委員会を適宜開催し、事業の適正な運営と推進に努めました。
- (5) 各職班の会議等については、昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催の中止・延期の措置を取り、特に開催する必要がある場合は参加者を少なくして開催しました。
- (6) 入会式を開催し、新入会員に対し、会員として必要な心得及び地域班活動への理解を促し、基本理念の浸透及び会員意識の向上に努めました。